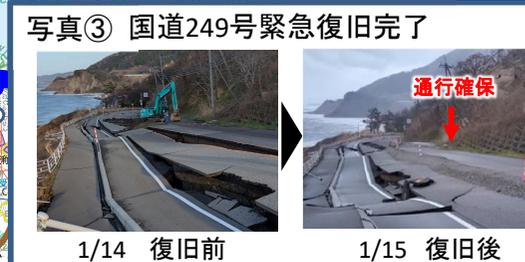


現在の交通状況等について

令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年5月14日(火)7時00分時点
国土交通省・石川県

- 1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、地元を中心とした各建設業協会や(一社)日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、13方向で通路を確保。
- 孤立集落は1/19に実質的に解消。引き続き、水道・電力などの要望、自治体の要請を踏まえ、緊急復旧を実施。



凡例

- : 国交省対応(走行可能)
- : 県対応(走行可能・この他にも作業を実施)
- : 自衛隊対応(走行可能)
- : 自動車専用道路(走行可能)
- ✖ : 被災規模 大
- ✖ : 被災規模 大(緊急車両等の通行を確保済)
- : 沿岸部への到達点

一般道



主要な幹線道路における緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の主要な幹線道路	約6割	⇒ 約9割
うち国道249号沿岸部※1	約2割	⇒ 約8割 (迂回路を考慮:約9割)
沿岸部への到達※2	6方向	⇒ 13方向

※1: 輪島市門前町～珠州市役所、※2: 内陸側・海側の両方

孤立地区数の推移※3

1月5日8時	33地区 (最大3,345人)
1月19日	実質的に解消 ※4

※3: 内閣府防災資料より
※4: 2/13に全て解消

生活インフラ復旧に必要な重要箇所の緊急復旧※5

優先復旧の要望箇所への対応状況	43/43箇所 (5月8日完了)
-----------------	---------------------

※5: 水道、電力、通信、放送事業者より聞き取り

能登半島へのアクセス確保

5/14 7時00分時点
国土交通省 道路局

(主な対応状況)

- 1/2
 - ・北陸道などの高速道路(NEXCO・公社管理)の通行止め解除
 - ・能登半島へのアクセス道路の緊急復旧に着手
 - ・普通車について、輪島・珠洲市までアクセス確保(大型車について、1/4確保)
- 1/9
 - ・緊急復旧により、半島内の幹線道路の約8割が通行可(1/15 約9割まで進捗)
- 1/14
 - ・総理大臣の指示を受け、権限代行に関する調整に着手
- 1/23
 - ・国が石川県に代わり本格的な災害復旧を代行することを決定
- 2/21
 - ・社会資本整備審議会道路技術小委員会において、復旧方針の検討を開始
- 3/26
 - ・社会資本整備審議会道路技術小委員会において、道路構造物の技術基準の方向性を公表

7月末までに徳田大津IC⇔のと里山空港IC対面通行確保※越の原IC~穴水IC間の能登大橋付近は当面の間、片側交互通行



4月の能登半島の交通状況

- 半島北部へのアクセスのため、震災直後は国道249号の七尾湾側に交通が集中していたが、主要経路の復旧により分散し、混雑が緩和。
- 七尾市から輪島市や珠洲市への所要時間は地震直後に比べ、迂回解消やその他主要経路の復旧に伴い減少した。
- 4月時点でも地震前と比較して所要時間は1.5倍以上かかっており、のと里山空港IC～徳田大津ICの南向き通行止めが続いているため、南向きの所要時間は北向きに比べて更に長い。

【平均旅行速度】

令和6年1月11日(木)
8時～10時



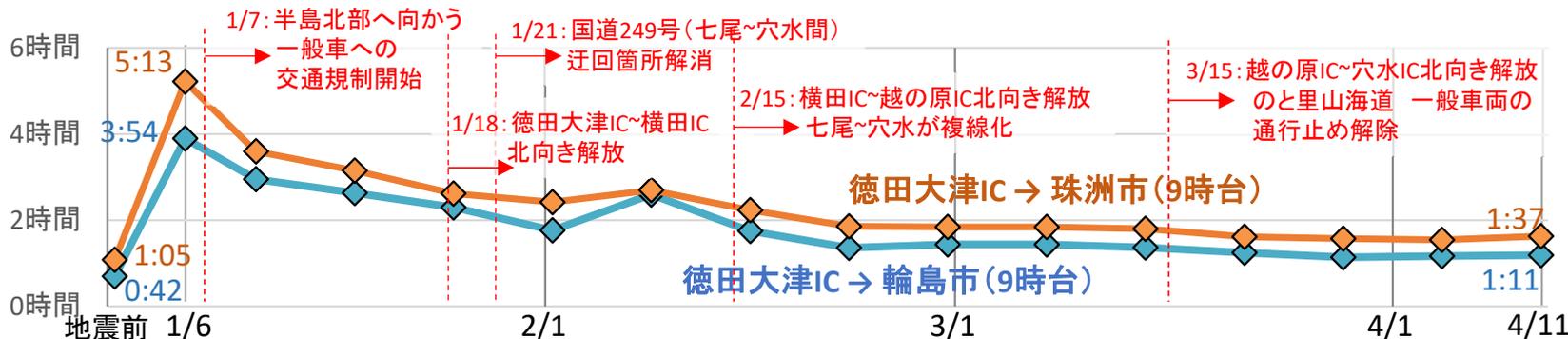
令和6年4月11日(木)
8時～10時



【凡例】

- 0 ~ 10km/h
- 11 ~ 30km/h
- 31 ~ 50km/h
- 51km/h ~

(出典) 旅行速度:ETC2.0通行実績

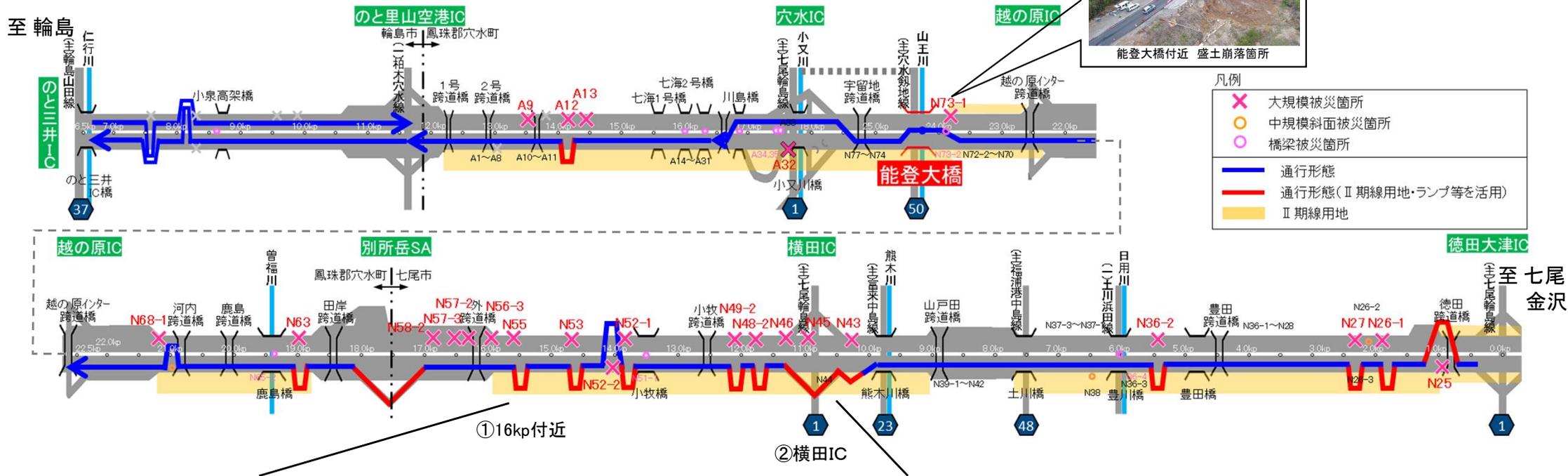


《南向き所要時間》
 4月11日(木)17時台
 珠洲市→徳田大津IC: 1:52
 輪島市→徳田大津IC: 1:29

能越自動車道緊急復旧状況

- 能越自動車道(のと里山海道)では、多段盛土の大規模崩落が多数発生していることや能登大橋の橋台背面盛土が大規模に崩落している状況。
- このため、道路用地を最大限に活用して早期の復旧を目指しており、令和6年3月15日までに全区間での北向き1車線の通行を確保。

■ 大規模被災箇所と緊急復旧状況 (令和6年3月15日時点 北向き1車線通行確保)



■ 2期線用地を活用した通行確保



① のと里山海道 16kp付近

■ ランプを活用した通行確保



② のと里山海道 横田IC

国道249号緊急復旧状況

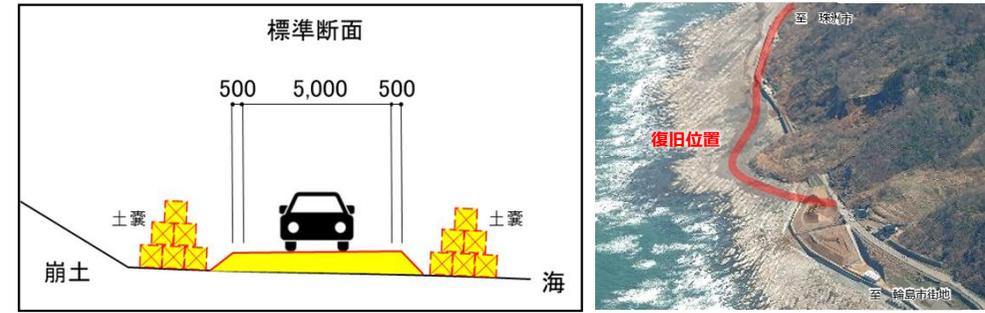
- 国道249号沿岸部では地割れや段差、道路の大規模な崩落、トンネルや橋梁など構造物の損傷等が複数箇所で見られていることから、国による権限代行により復旧工事を実施。
- このうち、千枚田工区では、現道位置で多くの地すべりが発生しているため、海岸隆起を活用して令和6年5月2日に緊急車両等の通行を確保。

■ 位置図

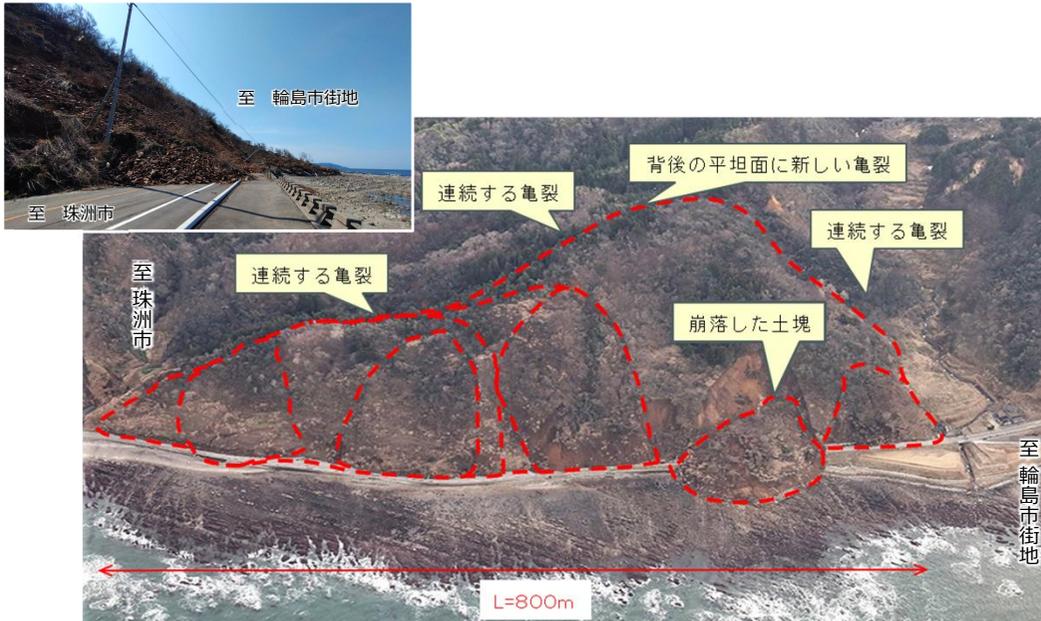


■ 緊急復旧計画

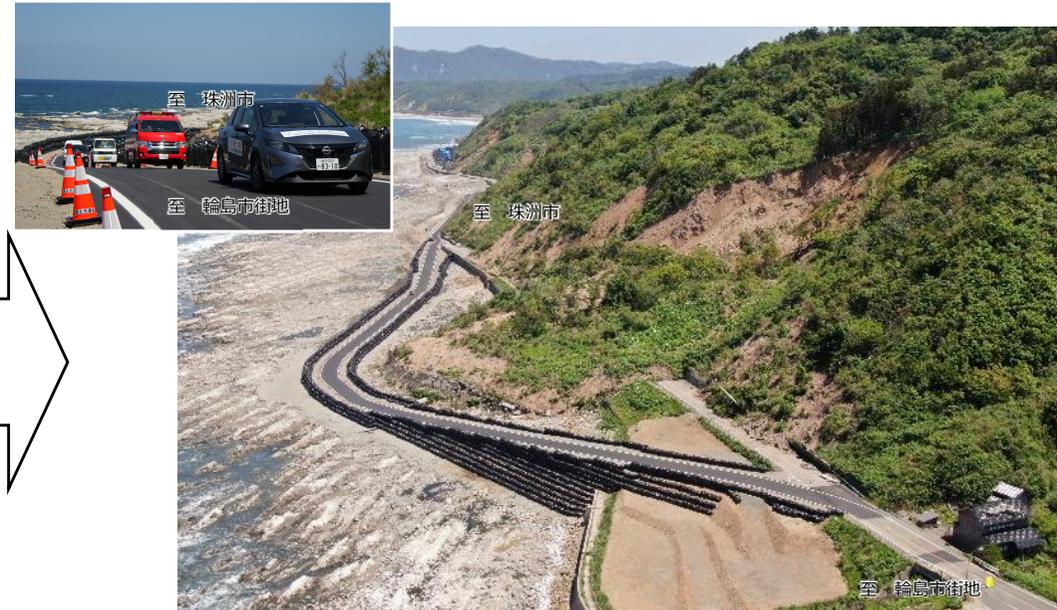
(海岸隆起を活用し、緊急車両等の通行を確保)



■ 被災状況・復旧状況



R6年1月:被災状況(大規模崩落)



R6年5月2日:海岸隆起を活用して1車線確保

初動期の緊急復旧と道路交通の状況 (1月6日(土)時点)

- 発災直後からプッシュ型支援により、緊急復旧(道路啓開)に着手。建設業者の応援を受け、県等とも連携しつつ順次作業を実施。
- 一方、通行可能となっても、段差や道路陥没などの損傷箇所が残り、徐行を要する区間が多く存在。
- また、土砂流入等に伴う片側交互通行箇所も多くあり、渋滞が発生(横転や脱輪が発生した自動車が道路に存置されていることから交通規制が発生した場合もあり)。
- 再度発生した災害や上下水道等の復旧工事に伴う通行規制も発生。

○緊急復旧(道路啓開)の状況

写真1



橋梁の段差解消

写真2



路面変状の解消

○道路交通の状況(1月6日時点)



24時間体制での緊急復旧（道路啓開）作業



- クルマを失った方や移動手段を持たない方の公共交通での移動を支援するとともに、公共交通利用誘導による道路渋滞緩和を目的に能登地域における公共交通の運行状況の一元的な提供サイトを立ち上げ。
- 公共交通の復旧状況を簡易に一覧できるマップを配置し、毎日各交通機関の更新状況を確認し、更新があればすぐに変更を反映。
- 国土交通省等による災害時交通マネジメント検討会で、公共交通利用促進のため自治体等と連携して提供サイトを活用する方針を確認。

のと公共交通情報研究会とは・・・

防災関係有識者と地元企業等が連携し、「平成30年7月豪雨災害(西日本豪雨災害)」において立ち上がった災害時公共交通情報提供研究会の知見を生かし、被災に伴い移動手段を失った方の移動手段の情報を提供するとともに、被災者の支援に向かわれる方に鉄道・バス等の運行情報を提供することで、復興を手助けすることを目的として発災後に設立されたプロジェクト

【目的の交通機関を簡単に探せるよう配慮したUI】



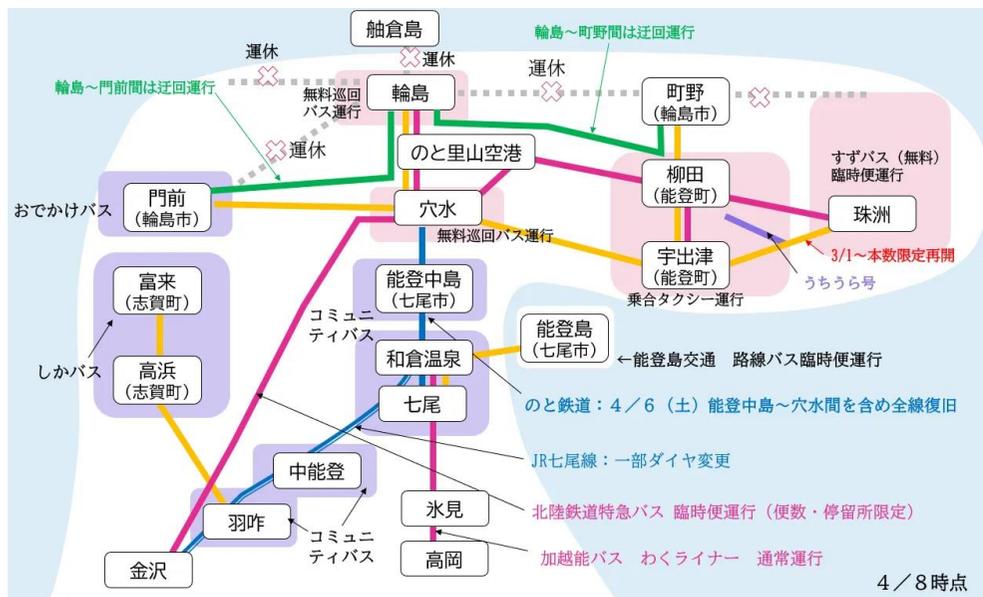
【鉄道、バス、各市町の公共交通の運行状況を網羅】

目次 [閉じる]

- JR西日本(金沢～七尾・和倉温泉)【4/27より時刻表通りの運転時刻に】
- のと鉄道【4/6全線再開】
- 特急バス(金沢～穴水・輪島・能登町・珠洲)【臨時便運行】
 - 輪島特急: 金沢駅～穴水～(のと里山空港)～輪島市役所前
 - 珠洲特急: 金沢駅～穴水～のと里山空港～珠洲市役所前
 - 珠洲宇出津特急: 金沢駅～穴水～のと里山空港～柳田～能登町役場
- 高岡・氷見～和倉温泉 特急バス「わくライナー」(加越能バス)
- のと里山空港関連
 - フライト情報(ANA)
 - 交通アクセス(ふるさとタクシーなど)【要予約】
- 奥能登地区一般路線バス(輪島、珠洲、穴水、能登)【北鉄奥能登バス】
- 能登地区一般路線バス(七尾、羽咋、中能登、志賀)【北鉄能登バス担当便】
 - 七尾駅発着路線【3/3より、一部路線を除き全便運行再開】
 - 羽咋駅～志賀町関連路線【3/3より、一部路線を除き全便運行再開】
- 能登島方面(能登島交通)【臨時便運行】
- 各市町のコミュニティバス等
 - 七尾市【一部運行再開】
 - 輪島市【無料巡回バス運行開始】
 - 珠洲市【すずバス臨時便運行開始】
 - 羽咋市【運行再開】
 - 宝達志水町【運行再開】
 - 中能登町【運行再開】
 - 志賀町【運行再開】
 - 穴水町【臨時無料バス運行開始】
 - 能登町【一部運行再開】
- タクシー
- 災害ボランティアに参加される方の現地への移動に関して

※目次の凡例: 青: 通常ダイヤで運行 黄: 一部運休または臨時ダイヤ 赤: 運休

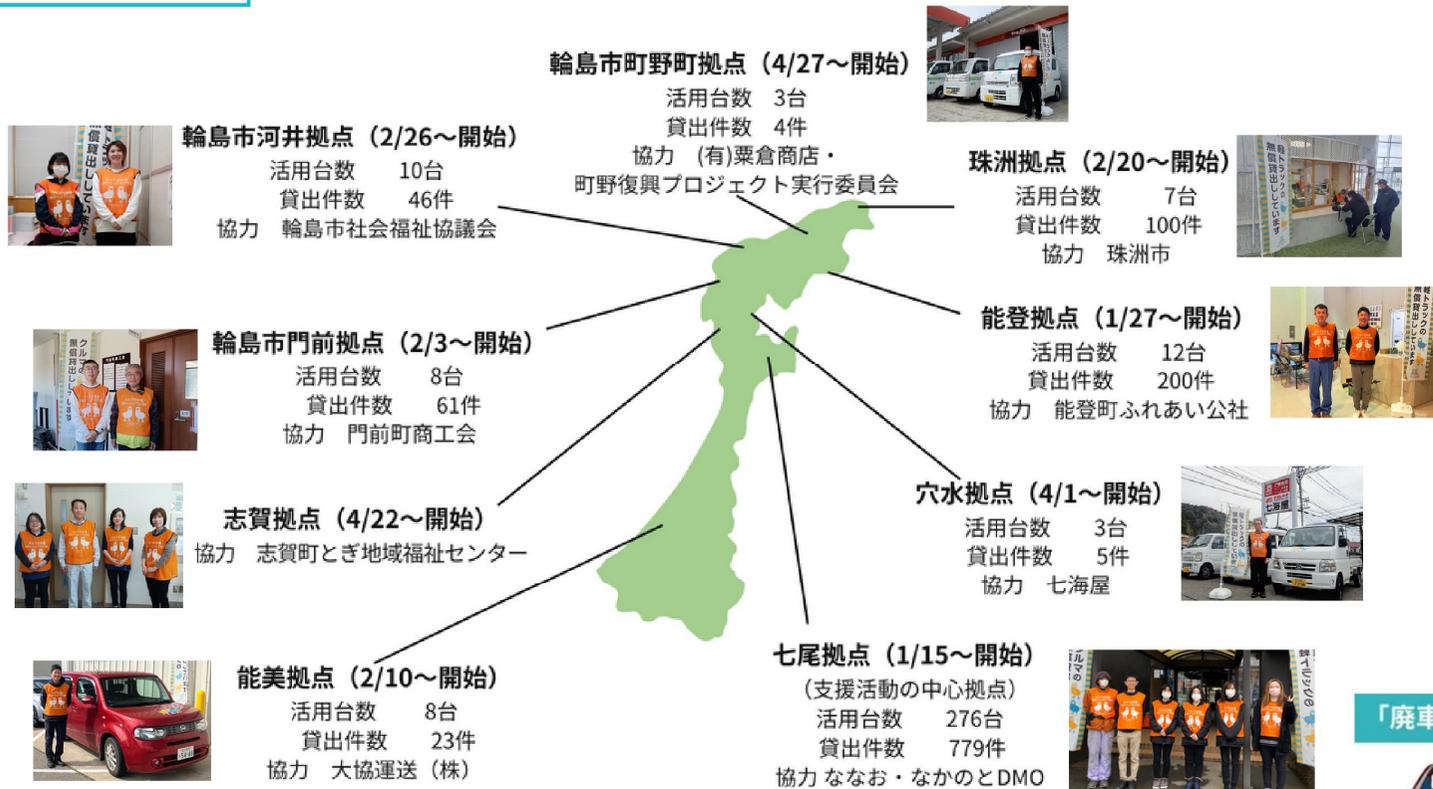
【復旧状況を一目でわかるマップを提供】



- 令和6年能登半島地震で被災された方・支援活動を行う団体を対象に、車の無料貸出し支援を約6カ月間実施。
- 貸出す車は自動車販売店、リース会社等の法人・個人から寄付された中古車を使用し、5月1日までに、延べ370台、1655件の貸出しを実施。
- また、希望者から廃車の寄付を募り、廃車・リサイクル処理の過程で得たパーツや資源の金額を協会への寄付金とし、活動資金へと充当する、「廃車で被災地支援プロジェクト」も実施。

※2024年5月1日時点

支援概要



- ◇ 支援期間 ◇
1月15日～7月31日
- ◇ 貸出し内容 ◇
[長期貸出] 軽乗用・普通車・7名乗り以上の車など
[期間] 1ヶ月毎の更新
[短期貸出] 軽トラック・軽ダンプ
軽バン・大きめのバン
キャンピングカーなど
[期間] 最長3日間

活用車両台数

370 台

貸出延べ件数

1655 件

「廃車する車」が能登半島地震の被災地の力に



東日本大震災のあと宮城県に設立された日本カーシェアリング協会は、災害で車が被害を受けた被災者などに車を無料で貸し出す支援活動を行っている。

(一社) 日本カーシェアリング協会 <<https://www.japan-csa.org/>>

車を寄付して、困っている誰かを支える1人になる。